

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習 I-1	PSP11-002	必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 祐太 他	D310	y.sakamoto	火曜 13:00~14:40		
授業の目的・概要	理学療法学の初学者に必要な感性、倫理感、理学療法への理解を深めることを主の目的とする。また、医療者および社会人として必要な技術として、グループワーク、情報収集、プレゼンテーション、レポート作法、論理的思考等を経験し、大学で理学療法学を主体的に学修する方法を身につける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	授業内外のグループワークや学習が重要となる。自ら学ぶ姿勢を持ち、発言が苦手な学生もグループへの積極的な貢献を行うことを推奨する。				
教科書	論理的文章作法<帰納法・演繹法・弁証法で書く>、西田みどり、知玄社/2017				
参考書	大学生からのグループ・ディスカッション入門、中野美香、ナカニシ社/2018 考える技術・核技術 日本人のロジカルシンキング実践法、山崎康司、ダイヤモンド社/2011 アカデミックスキルの解説 (授業配布資料)				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	医療人として必要な倫理感について理解する			RH(1)、(3)、(6)、HSU(1)、(3)	
②	理学療法について理解し、説明できる			RH(2)~(3)	
③	グループワークにおける討論の方法を理解できる			RH(3)~(6)、HSU(4)~(6)	
④	プレゼンテーションの方法を理解できる			RH(3)~(6)、HSU(5)~(6)	
⑤	レポートの作成方法を理解できる			RH(3)~(6)、HSU(5)~(6)	
⑥	共同した学習方法を理解できる			RH(3)~(6)、HSU(4)~(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	「概要①」理学療法演習 I-1 の学修目標、内容、グループワーク方法を講義する。クラス内で自己紹介、理学療法に関する情報共有する。(全体)	[担当] 坂本 他	講義・演習	講義後、理学療法士に関する調べ物をする。	1
2	「概要②」理学療法士の役割を考える。アカデミックスキルについて学修する (全体)	[担当] 坂本 他	講義・演習	講義後、提出課題に取り組む、認知症について調べる。	1
3	「ディスカッション①」医療に関連する倫理的課題や社会背景について講義する。グループでディスカッションを経験し、グループワークへの理解を深める。(全体)	[担当] 坂本 他	講義・演習	講義後、スポーツ障害、ガン疾患について調べる。	1
4	「ディスカッション②」医療に関連する倫理的課題や社会背景について講義する。グループでディスカッションを経験し、グループワークへの理解を深める。(クラス別)	[担当] 坂本 他	講義・演習	発表準備をする	1
5	「ディスカッション③」医療に関連する倫理的課題や社会背景について講義する。グループでディスカッションを経験し、グループワークへの理解を深める。(クラス別)	[担当] 坂本 他	講義・演習	発表準備をする	1
6	「ディスカッション④」選択したテーマについて、発表する (クラス別)	[担当] 坂本 他	講義・演習		0
7	「規範行動①」医療者に必要な行動や振る舞いについて、ロール場面を見学する。(全体)	[担当] 坂本 他	講義・演習		2
8	「規範行動②」医療者に必要な行動や振る舞いについて、グループでディスカッションをする。(クラス別)	[担当] 坂本 他	演習	医療者の規範行動に関する動画を視聴する。規範行動を題材にした GW、プレゼンテーションを準備する。	2
9	「規範行動③」医療者に必要な行動や振る舞いについて、プレゼンテーションの準備をする。(クラス別)	[担当] 坂本 他	演習		2
10	「規範行動④」医療者に必要な行動や振る舞いについて、発表する。(クラス別)	[担当] 坂本	演習		0
11	「レポートの書き方とインタビュー」型に基づいたレポートの記載方法を学ぶ (全体)	[担当] 坂本	講義・演習	文章作法について予習復習する	1

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

12	「理学療法士とは①」リハビリテーション学科所属者へのインタビューおよび文献検討をする。(クラス別)	[担当] 坂本 他	演習	理学療法学科所属者にインタビュー計画を実行する。インタビュー内容をまとめ、科目の総括として理学療法士として学ぶべき目標を立てるレポートを授業外でのグループワーク、ディスカッションを行う	1
13	「理学療法士とは②」リハビリテーション学科所属者へのインタビューおよび文献検討をする。(クラス別)	[担当] 坂本 他	演習		1
14	「理学療法士とは③」リハビリテーション学科所属者へのインタビューおよび文献検討をする。(クラス別)	[担当] 坂本 他	演習		1
15	「レポート」レポートにまとめる。(クラス別)	[担当] 坂本	演習		0
試					

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	30	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	30	40
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	5	5	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	5	5	0	0	10

評価のポイント			フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
レポート	①	✓	この授業を通じた総括のレポートを採点する。Teams を用いて課題提出を行い、ルーブリックによる採点基準に合わせて採点する。(40%)	必要に応じて、解説を行う。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤	✓		
	⑥			
成果発表	①	✓	「規範行動」に関する発表を採点する。ルーブリックによる採点基準に合わせて採点する。(30%)	必要に応じて、解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥	✓		
その他	①		「規範行動」で作成した成果物(見学実習ルーブリック、基準表等)の評価(20%) クラス別の回において、各学生の参加度の総評(10%)	必要に応じて、解説を行う。
	②			
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		

備 考

他 担 当 教 員	Aクラス：粕山 達也、関口 賢人、福田 京佑： Bクラス：三科 貴博、源 裕介、石井 智也、元山 美緒
教員の実務経験	理学療法士として8年の臨床経験がある。アカデミックスキル、グループワークを中心とした授業の主担当を5年間している。
実践的授業の内容	理学療法士には様々な属性に関係なくすべての人の尊厳と権利を尊重し、誠意や謙虚さを備える態度が必要である。本科目では、学生、患者、医療者で生じる事例や、臨床現場で生じている問題、臨床実習で生じる課題などを取り上げ、学生間でディスカッションをすることで医療者および理学療法士に対する理解を醸成する。手法として能動的学習法を取り入れることで、アカデミックスキルの利用方法を体験し、社会人における能動的行動や問題解決思考の基盤を形成する。
そ の 他	この科目では、クラスにおける少人数単位での活動が主となる。グループでの授業外での活動が重要になるため、学生間、教員との連絡の際には相手を尊重し、マナーのある連絡の仕方について理解し、実践すること。PCを使用する場面があるため、準備しておくこと。また、授業の進行状況により、一部変更される場合がある。